

式 次 第

開始式 9月23日 9:10 (役員整列)	表彰式 9月24日 16:20 (予定) (役員整列)
1 開式通告	1 開式通告
2 国旗・高体連旗掲揚	2 成績発表
3 優勝杯返還	3 表彰
4 競技上の注意	4 国旗・高体連旗降納
5 閉式通告 (役員退場)	5 閉式通告 (役員退場)

競 技 注 意 事 項

- 本大会は、2023年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項により実施する。
- 東海高校新人陸上競技選手権大会への出場について (R4より変更)
 - 本大会で6位(走高跳・棒高跳のみ6位6名)に入賞した競技者には、10月28、29日三重交通Gスポーツの杜伊勢で行われる東海新人大会への出場権が与えられる。(出場権辞退者が出た場合は、順次下位者に出場権が与えられる。その際、同記録で並んだ場合は抽選とする。)
 - 国体選手には、国体出場種目に限り県大会の出場権があれば、県大会に出場しなくても東海出場権を与える。(詳細別紙)
- 練習場について
 - 本競技場はトラック競技のみ(棒高跳は可) 1日目7:30~8:40、2日目7:30~8:40の時間使用できる。
 - 補助競技場での練習は、トラック競技、跳躍競技のみとする。(7:30~17:00、~16:00(2日目))
- 招集について
 - 招集所は、本競技場の第4コーナー100mスタート後方付近に設置する。
 - 招集時間は、競技開始時刻を基準とし、下記の通りとする。また競技者自身が行うこと。

		招集開始時間	招集完了時間
トラック競技	予(マイル決)	30分前	20分前
	準決・決	25分前	15分前
フィールド競技	走幅跳・三段跳	50分前	40分前
	走高跳	60分前	50分前
	棒高跳	100分前	90分前
	投てき	50分前	40分前

- 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとして処理する。
 - 出場する種目を棄権する場合は、招集完了時刻までに競技者係まで申し出ること。
- 競技について
 - 競技者は、当該種目以外競技場に立ち入ることはできない。
 - 短距離種目では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分のレーンを走ること。
 - トラック競技の判定は、すべて写真判定装置(電気計時1/100)で行う。
 - トラック競技においてプラス進出者を決める場合、その最下位で同タイムが出た場合(以下同タイム者という)は、判定写真を細部(電気計時1/1000)まで読み取り判定をする。それでも判定できない場合は、同タイム者または代理人による抽選で決定する。
 - リレー競走のオーダー用紙について、予選は招集完了時刻の1時間前、決勝は招集完了時刻の30分前までに競技者係に提出すること。(オーダー用紙は1枚とする)
 - リレー競走に出場するチームは、同一のユニフォームを着用するものとする。(同色系可)
 - 「助力」に関することは陸連の規約通り。(通信機器の持ち込みは禁止)
 - 三段跳の踏切板は、男子11m、女子9m。
 - 本大会は、不正スタート1回で、失格となる競技会である。(国内適用)
 - 競歩は制限時間を設定する。男子35分、女子40分で最終周回に入っていない場合は、競技を打ち切りとする。

6. 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方

	練習 A	練習 B	練習 C	1	2	3	4	5	
男子走高跳	1m65	1m80		1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	以降 3 cm
女子走高跳	1m35	1m50		1m40	1m45	1m50	1m55		以降 3 cm
男子棒高跳	3m50	4m00	4m40	3m60	3m80	3m90	4m00		以降 10cm
女子棒高跳	2m00	2m50	3m00	2m20	2m40	2m60	2m70		以降 10cm

(1) 上記の通りとする。但し、天候等の状況により変更する場合もある。

(2) 第1位が同成績の場合ジャンプオフを、第6位が同成績の場合順位決定戦を実施する。バーの上げ下げは、走高跳2cm、棒高跳5cmとする。

7. 競技用靴について

(1) スパイクのピンの長さは9mmを超えてはならない。走高跳・やり投は12mmを超えてはならない。また、これらのスパイクの直径は先端が4mm以内であること。

(2) シューズの厚さについての検査を実施する。(フィールド競技用シューズは除く)

8. アスリートビブス(以下ビブス)について

ビブスは、高体連仕様のもをユニフォームの胸部と背部につけること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸部または背部のみでよい。また、トラック競技出場者は、写真判定用の腰ナンバーカードを招集所で受け取り、パンツの右やや後方につけること。但し、競歩、3000mSC、3000m、5000mについては、パンツの左右につけること。また、競歩競技者は、招集完了時刻の2時間前から30分間、大会本部に自分のアスリートビブスを持参し競歩用のビブスを借り受け、胸部と背部につけて招集を受けること。

9. 競技用具について

競技に使用する器具は、すべて主催者が用意したものをを使用することを原則とする。但し、円盤・ハンマー・やりは持参したものを、検査を受けて使用することができる。検査は競技開始の1時間前から40分前まで第4コーナー付近の器具庫で行い、その場で借り上げ、競技終了後同じ場所で返却する。

棒高跳用ポールは、個人所有のものを使用できる。検査は競技場所で跳躍審判員が行う。

10. 表彰について

決勝で6位までに入賞した競技者は、表彰を行う。

総合の学校対校は1～6位、トラック・フィールドの部は1～3位まで賞状を授与する。

11. 来年度県総体シード権について

本大会各種目(リレーは除く)で3位までの競技者には、来年度の県高校総体へのシード権を与えることとする。国体出場者については、別途審議する。

12. その他

(1) 大会期間中に競技場で発生した傷病や疾病は、医務室で応急処置を行うが、その後の責任は負わない。

(2) 更衣室及びエレベーターの使用は禁止する。

(3) 各学校の責任で環境美化に努め、ゴミは持ち帰ること。

(4) 競技場の開門は1日目は7:00、2日目は7:00。場所を巡ってトラブルやケガをしないようにすること。

(5) 各校の場所確保については、割振りとする。また、場所確保や、壁や柱に紙等を貼るためのテープ類の使用は厳禁とする。

(6) 各校の部旗・横断幕は1枚のみ、のぼりは5本まで。設置場所は、芝生スタンド最上段を基本とするが、縦が1m以内の横断幕は最前列を使用しても良い。

(7) トレーナーステーションは設置しない。競技中のけが等への対応としてゴール付近等にトレーナーを配置し、救護活動のみ実施する。

(8) **撮影については、選手と部員、選手の家族のみとする。撮影許可者は、顧問印のある許可証を持参し撮影IDを受け取り、外から見える位置にIDをつけて撮影する。また、撮影禁止エリアを厳守し、望遠付きカメラでの撮影は禁止する。**

(9) 本プログラムには大会要項にことわったとおり、競技者名・学年・所属校を記載し、また大会の結果発表、インターネットへの記載、上位入賞者については新聞等への掲載をするので、各校顧問ならびに競技者は承知しておくこと。